

◆ グラフィックデザイン学科 / 3DCG アニメーション学科 / デジタルアニメ学科

会場からの爆笑、審査員からの賞賛、それそれが高く評価された12作品

2月14日はグラフィックス分野の発表会がソニックホールで開かれ、学内選考会でノミネートされた12作品のプレゼンテーションが行われました。各作品が披露されると、美しい映像に見入ったり、ユニークな内容に爆笑が起るなど、来場者たちも大いに楽しんでいた様子です。

発表後は授賞式が行われ、グラフィックデザイン学科・井上満里菜さんの「たこ焼き屋活性化企画」、3DCGアニメーション学科・孫冠群さんの「NEVER BE WITH YOU」、デジタルアニメ学科・王変製作委員会の「王子がこんなに変態なわけない!」が最優秀賞を獲得。また、グラフィックデザイン学科・石田享夏さんの「日本文学をモチーフとしたグッズ企画」に、ゲスト審査員の上高原新介氏より神戸デザイン協会賞が授与されました。源田副校長からは、「校説である『誠実・努力』を怠らず、これからも作品制作にいそしんでください」と、学生たちに激励の言葉が贈られました。



受賞 作品紹介

● 3DCG アニメーション学科

この受賞を励みに、来年はさらにレベルアップした作品に挑みます!



● 作品名 NEVER BE WITH YOU

孫 冠群さん 1年 留学生

地球がエイリアンに侵略され、その戦いの中で生まれた男女の恋をカメラワークで表現しました。参考にしたのは、あるゲームのオープニングムービーです。空間の美しさを表現するため、背景、建物、植物などのモデリングには特に時間をかけ、自分なりにあれこれ工夫しました。将来はモデルー志望なので、今後はカメラワークとモデリング技術をさらに向上させることが課題です。今回の受賞を励みに、より良い作品をつくりたいと思います。



● デジタルアニメ学科

メンバー全員がファンになるほどこだわって作った王子に注目!

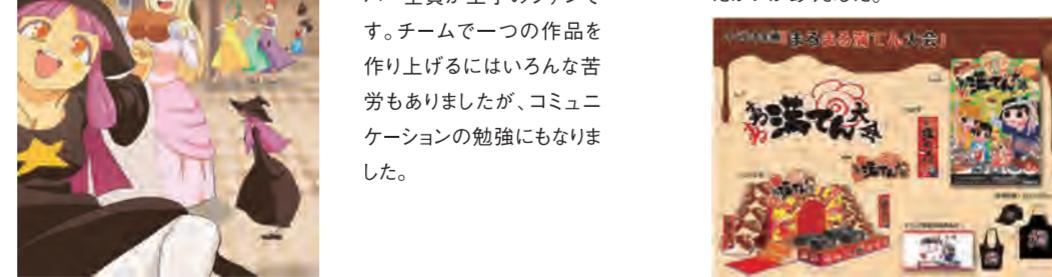


● 作品名 王子がこんなに変態なわけない!

王変製作委員会

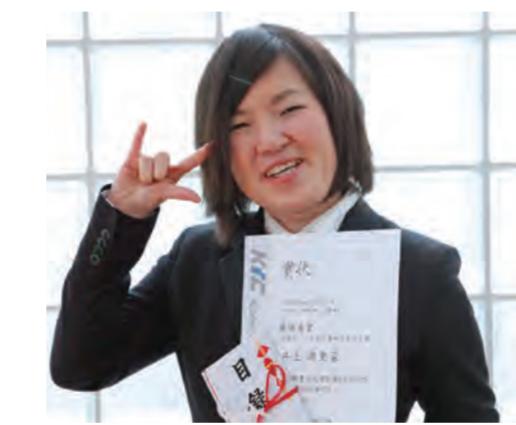
リーター 中野真梨奈さん 2年 兵庫県 川西北陵高等学校出身
私以外のメンバーは全て1年生。最優秀賞はきっと2年生が受賞する予測していたので、まさかいただけるとは思っていませんでした。作品はシンデレラと変態王子が繰り広げるタバタコメディ、イケメンなのに変態という王子のキャラクターづくりには特にこだわりました。

た。おかげで、今ではメンバー全員が王子のファンです。チームで一つの作品を作り上げるにはいろんな苦労もありましたが、コミュニケーションの勉強にもなりました。



● グラフィックデザイン学科

作品作りはもちろん、プレゼン資料にも力を入れて臨みました。



● 作品名 たこ焼き屋活性化企画

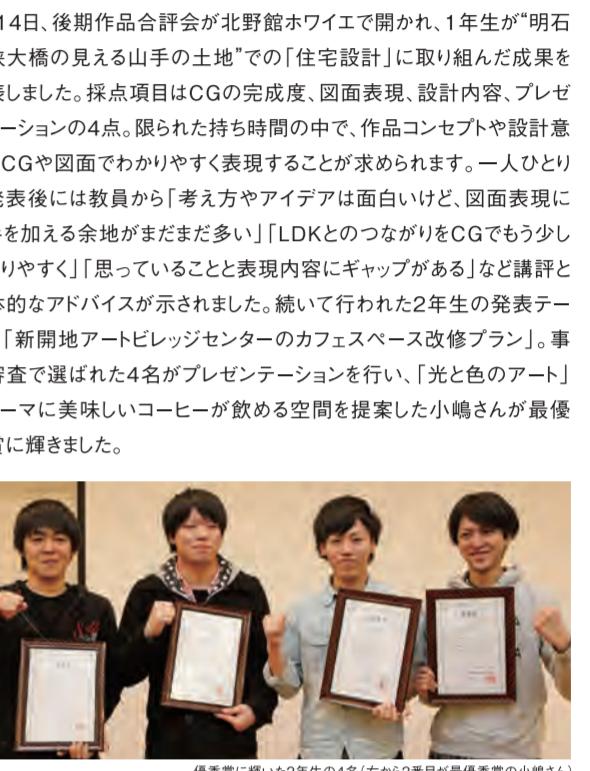
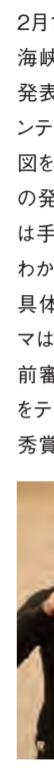
井上 満里菜さん 2年 兵庫県 播磨高等学校出身

学生の間、アバババでお世話になったたこ焼き店に、私のデザイン力で恩返しをしたいと思い、この企画を考えました。内容は、広告物のリメイクと、ロゴやグッズなど8点のデザイン製作を伴うイベント企画です。それに加えて、プレゼンシートにも徐々にたこ焼きが焼き上がっていくイラストを入れるなど、工夫を施しました。今回は、そんな企画の発想力とプレゼン力が評価されたのではないかでしょうか。頑張ったかいがありました。



◆ 建築インテリアデザイン学科

1年生は「住宅」、2年生は「アートスペースのカフェ」をテーマにプレゼン発表



優秀賞に輝いた2年生の4名(右から2番目が最優秀賞の小鳴さん)



◆ インダストリアルデザイン学科

3次元CAD技術を駆使して独自の着眼点をアピール!

2月12日、ホワイでおこなわれた成果発表会で、1、2年生全員が後期制作課題の中から各自の自信作を発表しました。マウスやノコギリグリップ、照明器具、ミニ四駆ボディ、椅子、ヒノキ雑貨など、去年に比べて制作課題のバリエーションも増えています。会場内では作品模型も展示。ミニ四駆ボディの展示コーナーでは、作品の走行コースも設置されました。プレゼンテーションは回を重ねるごとにスキルアップを感じられ、3次元CADを駆使したモデリングの技術、CGのクオリティの高さにも注目が集まりました。

最優秀賞に輝いたのはヒノキ雑貨を作成した2年生の岡村彩音さん、優秀賞はミニ四駆ボディを作成した1年生の岡田明弘さんでした。制作課題への取り組み姿勢や、就職活動への熱意など、普段の頑張りも加味して総合的に評価しました。最優秀賞の岡村さんは、教員全員の意見一致でその努力が評価されました」と、先生方の評価も上々でした。



● 作品名 ワインディスプレイラック 「Mr.Wine」

岡村 彩音さん 2年 兵庫県 伊丹高等学校出身



ワインに手が出そうなデザインディスプレイとしてもぜひ

後期制作課題の中で一番の自信作。ワインになじみのなかった人が、ワインに気軽に手を出せなくなるようなワインラックを目指しました。個人のインテリアとしてはもちろん、ワインバーやワイン販売店のディスプレイとして利用してもらえたと思います。

● 作品名 ミニ四駆ボディ 「Cline」

岡田 明弘さん 1年 兵庫県 農業高等学校出身



珍しいクラシックカーで古いものの新しさを表現!

輪が左右に動く本物の車と違い、前輪が固定されたミニ四駆は車輪を覆うようなるボディデザインが可能。ボディで車輪を隠し、クラシックカーをイメージしてデザインしました。ミニ四駆でクラシックカーはあまりないので、逆に新しいと思いました。

● 作品名 ノコギリグリップ 「Anarchy」

徳永 篤彦さん 1年 兵庫県 芦屋高等学校中退



L型グリップで機能とデザイン両立。

課題はボディのデザインなのですが、私はボディだけでなく、ボディに覆われた部分にもこだわりたかったので、シャーシ(車の機構部分)からつくり込みました。つまり車の基盤をCADで一からモデル化したんです。そのこだわりが評価されたのだと思います。

● 作品名 水陸両用車 「Splash」

佐々木 優さん 2年 兵庫県 但馬農業高等学校出身



ボディだけで満足せず、基盤までつくり込み。

「持ちやすさ」という機能を追求しつつ、ノコギリの「危険、怖い」というイメージを取り除き工夫をしました。黒の滑らかなラインとそれを強調するグレーの配色は、スポーティーな疾走感を伝え、留め具のピンクで堅い印象を柔らかく緩和しています。

● 作品名 ノコギリグリップ 「PILINE」

山本 一輝さん 1年 兵庫県 洲本実業高等学校出身



ノコギリの危険なイメージをスポーティーに転換。

「持ちやすさ」という機能を追求しつつ、ノコギリの「危険、怖い」というイメージを取り除き工夫をしました。黒の滑らかなラインとそれを強調するグレーの配色は、スポーティーな疾走感を伝え、留め具のピンクで堅い印象を柔らかく緩和しています。